



## 8月16日～31日の活動報告

### ●いしかわ環境フェア2022出展

日時：8月20日(土)・21日(日) 9:30-16:30  
場所：石川県産業展示館

北陸環境共生会議は「いしかわ環境フェア2022」に出展した。工作教室「廃棄プラスチックを使って万華鏡を作ろう!!」を開き、万華鏡作りを通して、プラスチックごみ問題・海洋ごみ問題への啓発を行った。

2日間で約200組の親子が体験し、廃棄プラスチックの再利用の可能性について考えた。

北陸環境共生会議は、北陸に共通・横断する環境問題に対し、県と企業が協力して取り組むことを目的として設立。富山県・石川県・福井県・北陸経済連合会で構成する団体である。



(担当：森岡)

### ●北陸三県港湾勉強会

日時：8月22日(月) 15:00-17:00  
場所：ホテル金沢

富山・石川・福井各県の港湾利用促進担当者が、意見・情報交換を行い、北陸三県の連携を深める「北陸三県港湾勉強会」を、北陸経済連合会が幹事を務め定期的に開催している。

今回は、(株)クボタ 物流統括部 武山義知部長を招いて講話をしていただいた。

まず、輸入コンテナの荷卸し後、通常は空回送するコンテナに、帰りの荷物もマッチングさせて積み込む「コンテナラウンドユース」を、(株)クボタでは積極的に取り組んで物流効率化を図っていること、および、その手順・実務、課題等について詳細な説明を受けた。

また、今後のトラックドライバー不足を見据え、モデルシフトを図っていくための取り組みとして、常陸那珂港と京浜港湾を結ぶコンテナ内航船を就航させるトライアル

事業を、荷主企業連合が働きかけ、行政・船会社と密に連携して実現していった事例を紹介していただいた。

講演終了後、富山・石川・福井各県の担当者間で、北陸の港湾利用に関する有意義な情報交換、意見交換が行われた。

(担当：高畠)

### ●三県知事との懇談会

日時：8月24日(水) 14:00-16:30  
場所：ホテル日航金沢(オンライン併催)

参加者：120名(来場61名、オンライン59名)

金井会長の開会挨拶後、2つのテーマについて三県知事と意見交換した。

テーマ1「北陸の一人当たり域内総生産向上に向けた産業振興策」について、石川県の馳知事からは「デジタル化支援のほか、商品開発や販路開拓への補助等により中小企業を支えていきたい」、富山県の新田知事からは海外展開に関して「ベトナムとの経済交流促進を目的に、12月に経済訪問団を派遣する」、福井県の杉本知事からは「女性活躍は産業振興の面でも重要。また、県庁内で1か月以上の男性育児取得を促進している」等の発言があった。

テーマ2「企業・人の流入に向けた北陸の魅力向上策」について、杉本知事からは「企業、人から選ばれる福井を目指し、デジタル広告を利用した魅力発信や、子育て支援を充実している」、馳知事からは「文化をキーワードに観光誘客を図る取り組みを進めており、その発展形として、文化振興を通じて世界平和を実現する文化安全保障にも力を入れたい」、新田知事からは「広域観光推進に向け、北陸三県の連携体制の強化が必要」等の発言があった。

また、新田知事からの北陸版のDMO(観光地域づくり法人)の設置に関する発言を受け、米沢観光委員長から、「北陸の経済界から考える北陸DMOのあるべき姿を検討している」旨の発言があった。

今回は、来年夏に富山県で開催を予定している。



(担当：小林)

## ●第3回いしかわ並行在来線金沢以西延伸対策検討会

日時：8月26日(金)11:00-12:00

場所：ANAクラウンプラザホテル金沢

出席者：馳石川県知事・沿線市町長・金井会長・各商工会等

2024年春の北陸新幹線敦賀開業に合わせて並行在来線になる金沢以西について話し合ういしかわ並行在来線金沢以西延伸対策検討会に金井会長が参加。

馳知事より「金沢以東以西沿線に限らず、珠洲も含めて、能登にも人の流れを作る必要がある。オール石川で経営を支えていきたい」と挨拶があった後、石川県並行在来線経営計画(案)が示された。計画によると運賃水準を現行の平均9%増とする方針。また資本金を現在の約20億円から10億円程度引き上げる予定。

意見交換において金井会長からは、「地域にとっては重要な交通手段であり、利便性の確保が当然重要。併せて北陸広域圏の観光需要の開発・開拓の観点からも、北陸新幹線敦賀延伸後は並行在来線が二次交通になり観光客が利用しやすい形にする必要がある。また並行在来線会社が3社となり、地方鉄道・JR各社と協力し相互乗り入れ等工夫を行い地域住民と北陸広域での観光の開発、この両面で検討してほしい。」と発言され、それに対し馳知事からは「三県知事懇談会の際にも話したが北陸三県の観光商品の開発をしようという話になっており各県合意いただいている。各県の鉄道を使い地域の魅力を掘り起こし提供していきたい。」との発言があった。

経営計画案は意見公募を経て、今年11月を目途に開催される次回検討会にて正式に決定する。



(担当：小玉)

## ●第9回 北陸産学連携懇談会

日時：8月30日(火)10:00-12:00

場所：福井工業大学 福井キャンパス

出席者：16名

福井工業大学において会員大学学長と北経連役員の北陸産学連携懇談会を開催した。

大学からは福井工業大学の掛下学長はじめ9大学より9名、北経連役員からは金井会長はじめ7名が出席した。

冒頭、金井会長から本懇談会では「産学連携した学

生の育成」、「大学のリカレント教育への期待」の2つのテーマで「スマート・リージョン北陸」に繋がる人材育成・確保に発展していけるよう率直な意見交換をさせて頂きたいと挨拶があった。

事前に実施した大学と企業へのアンケートを取りまとめた資料に基づき、事務局からは企業からのアンケート結果の報告、各大学からはそれぞれの取り組み等を紹介し、意見交換を行った。

出席者からは、学生に地域企業を知る機会の創出、インターンシップへの要望、学生の域内就業促進、社会人向けの教育プログラムの課題、企業の教育ニーズ等に対し発言があった。

閉会にあたり、稲垣副会長から人材育成や地域企業のDX化において、今後も産学連携を更に活性化していきたいと挨拶があった。



(担当：坂井)

## ●福井工業大学見学会

(総合対策委員会・新たな価値創出委員会 合同開催)

日時：8月30日(火)13:00-15:30

場所：福井工業大学 福井キャンパス

参加者：28名

福井工業大学見学会には、同日午前で開催した北陸産学連携懇談会の出席者、総合対策委員会と新たな価値創出委員会の委員ほか、28名が参加した。

掛下学長の挨拶と大学概要の紹介後、「AI&IoTセンター」、「まちづくりデザインセンター」、「ウェルネス&スポーツサイエンスセンター」、「ふくい PHOENIX ハイパープロジェクト」の研究内容の紹介があった。

その後、福井キャンパス内の工学部電気電子工学科、工学部機械工学科、環境情報学部環境食品応用化学科



それぞれの実験室・施設を4班に分かれて見学した。  
最後に、質疑応答・感想意見交換を行い、新たな価値創出委員会の北村委員長の挨拶で閉会した。

(担当：坂井)

## ●インドネシア行政官の北陸3県産業視察

8月29日(月)から31日(水)の日程で、政策研究大学院大学にJICA事業の一環として研修中の現地行政官2名、及び指導教官の工藤教授の産業視察を支援した。

日華化学㈱では江守代表取締役社長 CEO より同社のインドネシア進出経緯、今後の事業展開、並びに化学品産業の見通し等の説明に加え、NICCA イノベーションセンターの視察を実施した。インドネシア行政官2名より多数の質問があり、活発な意見交換がなされた。

津田駒工業㈱では高納代表取締役会長兼 CEO ほから当社の50年超にわたるインドネシア繊維産業への取組み実績、工作機器のラインナップ、並びに炭素繊維市場への取組み等の説明に加え、織機実稼働を見学の上、商品開発の経緯等に関し、質疑応答がなされた。

富山市では市内交通網視察後、都市計画課を訪問し、インドネシア行政官から同国におけるTOD(公共指向型都市開発)の利害関係者視線での失敗事例を説明した。他方、同課からは2003年からの富山市の都市開発戦略とTODによるまちづくりの経緯、LRT導入の事例、利害調整方法、並びに持続可能なコンパクトシティの実現に向けた包括的施策の紹介があり、大変貴重で有益な情報が提供された機会となった。

今回の産業視察は小規模ではあった反面、踏み込んだ熱のある質疑応答がなされ、会員企業、行政官双方にとって意義深い機会となった。



(担当：小島・高道)

## ●女性活躍推進の取り組みをホームページ掲載しました

北経連ホームページにて、会員企業における女性活躍

推進の取り組みを掲載しています。この度、新たに掲載していただける会員企業が増え、75社から83社となりました。掲載にご協力いただき、ありがとうございます。

下のURLから各社の取り組みをどうぞご覧ください。

また、新たに掲載にご協力いただける場合や掲載内容に変更がある場合は、事務局へお知らせ下さい。

<https://www.hokkeiren.gr.jp/project/diversity/>

問合せ：hino@hokkeiren.gr.jp

## 北経連D&Iプロジェクト 女性活躍推進の取り組み

(担当：日野)

### 今後の行事予定

#### ◆【実施】北陸国際投資交流促進会議「北陸域外での進出企業に学ぶ企業誘致勉強会」

日時：9月2日(金) 10:30-11:30

形式：オンライン開催 (Teams)

講演：「地方のアドバンテージと世界進出」

(株)FJコンボジット 代表取締役 津島 栄樹氏

#### ◆【実施】人財活躍推進セミナー

##### 「10年後の労働市場の状況と今から始めるべき企業の対応策」

さらに人手不足が深刻になっていく労働市場の10年先の状況と、企業は今からどのような対応をしなければならないのか、また、その解決策の一つとしての兼業・副業人材の受入れの重要性・メリットについて、皆さまと一緒に考えてまいります。

日時：9月12日(火) 14:00-16:40

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

内容：

第1部「労働市場の未来推計2030から見た課題と対策」

中央大学 経済学部教授 阿部 正浩 氏

第2部「北陸域外からの兼業・副業による『プロフェッショナル人材』の受入れの重要性・メリットは？」

演題1「北陸地域における『新しい人材シェア』のあり方について」

(株)日本政策投資銀行 北陸支店

企画調査課副調査役 宮原 史英子 氏



## 演題2 「地域労働市場の将来像と企業の対応策～共創型企業・人材展開プログラムからの教訓」

金沢大学 融合科学系教授 融合学域観光デザイン学類  
長 学長補佐(社会共創推進担当) 佐無田 光 氏

主催：北陸経済連合会

後援：(一社) 富山県経営者協会、(一社) 石川県経営者協会、福井県経営者協会

詳細：<https://www.hokkeiren.gr.jp/news/1543.html>

申込：9月2日(金)までに下のURLから申込

<https://forms.office.com/r/PgX3AECmb4>

(担当：落合・日野)

### ◆【参加者募集】三経連経済懇談会

日時：9月13日(火)～14日(水)

場所：ホテル佐勘(仙台市)

北陸・北海道・東北の3経済連合会による懇談会を仙台市にて開催する。

9月13日(火) 懇談会

14日(水) 視察会(福島ロボットテストフィールド、東日本大震災・原子力災害伝承館)

対象：副会長、常任理事、理事、監事へ案内済

### ◆【参加者募集】西日本経済協議会総会

日時：10月17日(月)13:30-18:10

場所：ホテル一畑(島根県松江市)

北陸、中部、関西、四国、九州、中国の6つの経済連合会で構成する西日本経済協議会の総会を開催します。

## お知らせ

### ■(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構(JEED)

福井支部からのお知らせ

高年齢者雇用推進セミナー

「いよいよ始まった！高年齢者の積極的活用～義務化への備えはできていますか～」

【日時】10月12日(水)13:30-16:00

【場所】福井県中小企業産業大学校

【内容】

1. 高年齢者雇用状況および改正高齢法について

2. 基調講演

「いよいよ秒読みに入っている！高齢者の積極的な雇用」～補完的労働力から基幹的労働力への転換！～

(株)紀の州コンサルティング代表取締役 濱田 智司 氏

3. 事例紹介 など

【対象】事業主・人事管理者等

【定員】50名

【主催】福井市、JEED 福井支部

【申込】10月5日(水)までに申込書をFAXまたは郵送

【詳細】

<https://www.jeed.go.jp/location/shibu/fukui/q2k4vk0000040nkl.html>

【問合せ】JEED 福井支部 TEL:0778-23-1021

(担当：落合)

### ■石川県からのお知らせ

「いしかわ女性が輝く企業創造塾」参加者募集

本塾は、西垣副知事を塾長に、女性活躍推進に取り組む県内外の先進企業の事例研究やグループ討議、県内先進企業の現地視察を通じて、女性活躍推進のノウハウを学び、自社の課題解決のためのオリジナルのロードマップを作成していく全6回の連続講座となっております。

【日時】10月20日(木)～2023年2月14日(火)  
全6回

【場所】石川県庁ほか

【対象】石川県内に事業所のある企業の幹部、人事管理者等

【定員】20社程度(1社2名まで)先着順

【詳細】

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/danjo/kigyousouzuzyuku.html>

【申込】10月7日(金)まで

【問合せ】石川県県民文化スポーツ部男女共同参画課  
TEL:076-225-1378

(担当：日野)

### ■(一社)中央日本総合観光機構からのお知らせ

「観光地域づくり人材育成研修」受講者募集

観光事業に携わる自治体・DMO・事業者等の中堅実務者を対象に、インバウンド観光振興等に関する最新知見等の習得、受講者間の討議や協働学習を通じた人材ネットワークの形成を目的とした研修を実施します。

【期間】9月28日(水)開講～2023年3月

【定員】30名

【対象】中央日本エリア内の観光・地域づくりを担う中堅実務者層(自治体、観光地域づくり法人(DMO)、観光事業者等) ※中堅人材以外に意欲ある方も応募可

【受講料】無料(受講会場への旅費(交通費・宿泊費)は受講生負担)

【申込】9月7日(水)までに研修申込書をメール提出

【詳細】[https://go-centraljapan.jp/lsc/lsc-upfile/information/01/41/141\\_1Ja\\_file.pdf](https://go-centraljapan.jp/lsc/lsc-upfile/information/01/41/141_1Ja_file.pdf)

【問合せ】(一社)中央日本総合観光機構

企画部 飯田・原 TEL:052-602-6651

E-MAIL: [info@go-centraljapan.jp](mailto:info@go-centraljapan.jp)

(担当：鳥山)